

令和 6 年度第 6 回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和6年11月10日（日）

実施場所：穂別町民センター

令和 6 年度のむかわ町子ども化石くらぶ第 6 回を開催しました。学芸員による実習などを実施しました。また、1 月提出の課題ポスター作りの説明を行いました。

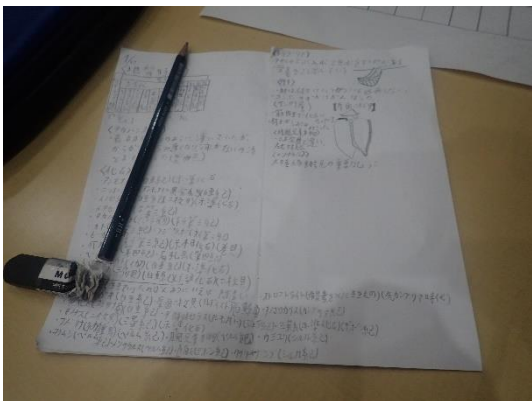
【5・6 年生の部（午前）】

18 名の会員児童が参加しました。「化石をたくさん見よう」という実習を行いました。会員に知っている地質時代を挙げてもらい、先カンブリア時代から現在までの地質時代について把握しました。



地質時代の確認。講師の西村学芸員。

そのあとの進め方としては、スライド（パソコン）で化石の写真および採集された地質時代・産地を示し、実物の化石（いくつかのものはレプリカ）を回覧し、その化石の名前をスライドで示すとともに、その化石種の重要性などを簡単に説明しました。北海道やむかわ町穂別から産出する、比較的身近な化石種の紹介からはじめて、古生代や先カンブリア時代の化石など、計 29 種類の化石種について勉強しました。実習は約 1 時間半行い、休憩時間などには引率の方などを含めて回覧した化石を自由に見ることができるようにしたので、改めて化石をじっくり見る時間となったようです。





実習・会場の様子

引き続き、5・6年生のみを対象とした講演「化石博士のなり方」を40分ほどかけて行いました。どういう経歴を経て化石博士になれるのか、化石博士になるための心構えなどについて話しました。講演の写真のうち、心構えについて説明した場面がほとんど撮影されていないのは、撮影を担当していたボランティア・スタッフを含めて真剣に聞き入っていたからだと思います。



化石博士のなり方を受講している様子

最後に10分間ほどで、課題のポスター制作、2月23日に予定されているポスター発表会と修了式、補習（ポスター制作の相談・化石クリーニングと化石レプリカづくりを自由に行える時間）の説明を行いました。

【3・4年生の部（午後）】

14名の会員児童が参加しました。実習の化石を「たくさん見よう」について5・6年生よりも長い2時間ほどかけて行いました。少しゆっくりめに説明をしたのと、休憩時間を長めに取り、自由に化石を見れる時間を長くとりました。5・6年生よりもすこし少ない

27 種の化石種を紹介しました。実習の終わり近くで、「あれー、恐竜は紹介されないのー？」という声が聞こえてきました。恐竜以外にも面白い古生物がたくさんいることは伝わったでしょうか。



実習・会場の様子

最後に 10 分間ほどで、課題のポスター制作、2 月 23 日に予定されているポスター

発表会と修了式、補習の説明を行いました。

11月10日の活動では、中高生のボランティア3名、博物館ボランティア3名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘

主任 干場芽衣